



Vol.2

# 流山発！ 朝採りの新鮮野菜



トマトのみずみずしさが伝わるよう



常連さんたちのコミュニケーションの場にも



認可保育所の跡地を活用

**慌**

ただしい都心からJR常磐線に乗り、馬橋駅に着いたら「流山線」に乗り換えます。単線に揺られ、10分ほどすると平和台駅に着きます。有人改札を出て歩いているとほどなくノスタルジヤな気分になり、ここが本当に東京都心の通勤圏内なのかと思いをめぐらせているうちに「いろいろやハーモニー」の前に来ます。

こちらは特定非営利活動法人自立サポートネット流山が運営する心身小規模福祉作業所です。主な事業は野菜直売であり、流山市内の40ほどの契約農家から収穫されたもぎたての野菜が毎日店先に並びます。現在、12名の利用者が販売業務をしています。利用者の皆さんは従業員と呼ばれ、明るく接客されているところから「福祉作業所」というものが感じられません。

従業員に続けてもらうために

店長の大島健一さんは「従業員の障碍の種類、程度に合わせて業務内容、勤務日数、勤務時間帯を設定しています。お店を運営するには様々な業務要素がありますから、それらの要素の中から、従業員それぞれができることから始めるのが基本です。そのことが安心、安定を生み、継続意欲を醸成できるのでは、そしてさらに前進していくのではと期待しています」と言います。

従業員のお給料は「時給制



開店前20分くらいからお客さんの行列が

で最初は100円から、その後勤務日数の積み重ねで500円まで昇給します(フル出勤で2年程度が目安)。能力給は導入しておりません。これは継続できるようにすることを基本にしているからです。もっと時給を上げてあげたいけれど、それにはもっと業容を拡大しないと」と大島さん。理事の松本千里さんは「現在6名の従業員の時給が500円になっています。それぞれが安心安定した状態で勤務継続している証だと思っています。これからさらに精神的、社会的、経済的に自立していくのに一人ひとりにどのような対応が適切か、が課題です」と続けます。

就労継続支援、就労移行支援

いろいろやハーモニーでは従業員が精神的に自立して社会生活を営むことができるように、そして一般就労ができるようになることを理想としてい

ますが、現実的には一人ひとりの年齢、障碍の種類、程度が異なるため、対応は画的ではありません。可能性に応じて目的を定め、支援するのが基本的なスタンスです。

「結果として環境に甘んじられませんが、過保護かもしれないませんが、従業員一人ひとりの置かれている状況にきめ細かく対応するほうがその従業員のためになるのではないかと松本さんは語ります。

地域の一体感

職員と従業員の取り組みによって、店舗は明るく親しみやすくなっています。また、従業員の方々が野菜を店頭に並べる際には活気に満ちあふれています。当日の朝に採れた枝豆、トマト、色とりどりの野菜がみずみずしく輝きを放ちます。

このような雰囲気から、毎

日11時の開店前には、近くに住む方々で長蛇の列になります。「野菜の種類や量は農家の収穫状況によるので、その日になってみないとわからない」と(大島さん)とのことですが、言い換えれば毎日新鮮な野菜しか並ばないということ。野菜の品質もすばらしく、ほとんど毎日売り切れてしまうそうです。

市の農政課や障害者支援課、地域住民の協力もあり、地域に着实に根づいているいろいろやハーモニー。今後ますます「地産地消」が発展することでしょう。

特定非営利活動法人自立サポートネット流山  
障碍を乗り越えて、自立を目指す人が働くお店 いろいろや・ハーモニー

住所 〒270-0157 千葉県流山市平和台 3-2-15  
TEL&FAX 04-7157-9933  
URL <http://www.geocities.jp/jsnagareyama/>  
e-mail iroiroya.harmony@jewel.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人自立サポートネット流山の詳細は WAMNET はたらきパーク (障害者就労支援情報) でも見ることができます。是非ご覧下さい。

URL <http://www.wam.go.jp/ca30/shuroshien/c02.html>



障害者就労支援情報コーナー

クリック